

癌化学療法輸液約束処方 大26

癌種 大腸癌 再発・切除不能（外来・入院用） インフューザーポンプ使用

レジメン名 大26 FOLFIRI + Panitumumab

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	1コースの期間
ベクティビックス	パニツムマブ	-	6 mg/kg	60分	CVポート	DAY 1	14日間
イリノテカン	塩酸イリノテカン	CPT-11	150 mg/m ²	90分			
レボホリナート	レボホリナートCa	I-LV	200 mg/m ²	120分			
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5FU	400 mg/m ²	bolus iv			
			1600~2400 mg/m ²	46hr civ			

[DAY 1]

【 CVポート 】

- ① NS 50ml + デキサート 1V / 5分
- ② NS 50ml + グラニセトロン 1A / 5分
- ③ NS 50ml / 10分
- ④ NS 100ml + ベクティビックス mg / 60分 ☆フィルター使用
- ⑤ NS 50ml / 10分
- ⑥ NS 500ml + イリノテカン mg / 90分 *末梢①同時投与
- ⑦ NS 50ml / 30分
- ⑧ NS 50ml + フルオロウラシル mg / 5分
- ⑨ NS ml + フルオロウラシル mg / 計 ml / 46hr civ
※ニプロシユアフューザー使用: SFS-1002D (100ml用)、SFS-5-25 (250ml用)
- ⑩ NS 20ml / シユアフューザー終了時フラッシュ

【 末梢 】

- ① 5%Tz 250ml + レボホリナート mg / 120分
- ② NS 50ml / 5分

<備考>

- ① 主として2次治療以降でKRAS遺伝子野生型の症例に使用する。
- ② ベクティビックス投与時はインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用する。
- ③ ベクティビックスは最終濃度10mg/mLを上限とし、生理食塩水に希釈し全量を100mLに調製する。
- ④ アレルギー症状(Grade 1以上)出現時は、医師へ連絡後に投与速度を50%減速(60→120min)し抗アレルギー剤の投与を行う。
- ⑤ 休薬規定および減量規定は添付資料参照。